

第 98 回看護師国家試験合格率は 89.9%

2009年保健師・助産師・看護師国家試験合格状況

第 95 回保健師合格率 97.7%

第 92 回助産師合格率 99.9%

厚生労働省は 3 月 26 日、2008 年度の第 95 回保健師国家試験、第 92 回助産師国家試験および第 98 回看護師国家試験の合格者を発表した。

合格率は保健師 97.7%、助産師 99.9%、看護師 89.9%。看護師は 2 年ぶりに 90% を切ったものの、

ともに例年並みの合格率で推移した(表 1 ～ 4)。「正答肢が存在しない」との理由で採点対象から除外された問題は保健師で 1 問、「複数の正解がある」との理由で複数の選択肢が正解となった問題は、保健師、看護師が各 1 問、助産師 2 問であった。なお、合格基準は表 5 の通りである。

4 年目を迎えた 2 年生通信課程の合格者は、第 1 回目以降増加傾向にあったが、今回は 3956 人中 2981 人と、受験者数、合格者数ともに前回(4063 人中 3285 人)をわずかに下回る結果となった。3 回目となった高校・高校専攻科 5 年一貫看護師養成課程は 3063 人中 2736 人が合格し、新卒者の合格率は 94.9%(前回 93.2%)と高い合格率を維持した。

表 1 保健師・助産師・看護師国家試験合格者と合格率

	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
第 95 回保健師	12,049	11,773	97.7
第 92 回助産師	1,742	1,741	99.9
第 98 回看護師	50,906	45,784	89.9

表 2 第 98 回看護師国家試験合格状況

区分	学校数	新卒				既卒			
		出願者数	受験者数	合格者数	合格率	出願者数	受験者数	合格者数	合格率
3 年課程	671	31,474	31,306	30,102	96.2%	1,984	1,946	1,145	58.8%
大学	130	9,546	9,518	9,280	97.5%	303	291	208	71.5%
短期大学	47	1,754	1,748	1,608	92.0%	251	249	153	61.4%
養成所	494	20,174	20,040	19,214	95.9%	1,430	1,406	784	55.8%
2 年課程	355	12,130	11,946	10,782	90.3%	2,580	2,528	991	39.2%
短期大学	9	95	95	85	89.5%	87	85	36	42.4%
養成所	280	8,143	8,108	7,625	94.0%	1,427	1,394	549	39.4%
高等学校専攻科	48	417	416	380	91.3%	428	420	117	27.9%
通信制	18	3,475	3,327	2,692	80.9%	638	629	289	45.9%
高校・高校専攻科 5 年一貫教育	66	2,754	2,745	2,604	94.9%	319	318	132	41.5%
EPA		82	82	0	0.0%	—	—	—	—
その他		22	22	20	90.9%	13	13	8	61.5%
計	1,092	46,462	46,101	43,508	94.4%	4,896	4,805	2,276	47.4%

表 2 第 95 回保健師国家試験合格者状況

区分	学校数	新卒				既卒			
		出願者数	受験者数	合格者数	合格率	出願者数	受験者数	合格者数	合格率
大学	128	10,450	10,390	10,235	98.5%	657	624	541	86.7%
短期大学専攻科	11	325	323	317	98.1%	24	24	21	87.5%
養成所	24	653	644	630	97.8%	45	43	29	67.4%
その他		—	—	—	—	1	1	0	0.0%
計	163	11,428	11,357	11,182	98.5%	727	692	591	85.4%

表3 第92回助産師国家試験合格者状況

区分	学校数	新卒				既卒			
		出願者数	受験者数	合格者数	合格率	出願者数	受験者数	合格者数	合格率
大学院	3	43	43	42	97.7%	—	—	—	—
大学専攻科	8	120	118	118	100.0%	—	—	—	—
大学	85	684	679	679	100.0%	19	19	19	100.0%
短期大学専攻科	10	170	170	170	100.0%	6	5	5	100.0%
養成所	35	704	698	698	100.0%	9	9	9	100.0%
その他		1	1	1	100.0%	—	—	—	—
計	141	1,722	1,709	1,708	99.9%	34	33	33	100.0%

表5 2008年度保助看護国試の合格基準

【第95回保健師国家試験】

一般問題を1問1点(74点満点)、状況設定問題を1問2点(60点満点)とし、次の合格基準を満たす者を合格とする。

◆総得点 81点以上／134点

【第92回助産師国家試験】

一般問題を1問1点(75点満点)、状況設定問題を1問2点(60点満点)とし、次の合格基準を満たす者を合格とする。

◆総得点 81点以上／135点

【第98回看護師国家試験】*

必修問題および一般問題を1問1点、状況設定問題を1問2点とし、次の①②のすべてを満たすものを合格とする。

◆(1)必修問題 24点以上／30点

(2)一般問題 174点以上／270点

状況設定問題

*尾道看護専門学校受験者を除く

■インドネシア人看護師候補者は全員が不合格

昨年8月に経済連携協定(EPA)により来日したインドネシア人看護師候補者は、3年の滞在期間内に3回まで国家試験を受験できるが、その間に看護師資格を取得できない場合、その後の滞在は認められていない。今回はその最初の機会となったが、受験者82人全員が不合格となった。

また、国家試験合格発表当日、看護師国家試験における試験委員の国家試験問題漏洩の懲戒処分が発表された。当該委員が問題を漏洩したとされる学校の受験生については、採点にあたって事前に知り得た可能性のある問題が採点の対象から除外されて採点したうえで、合否が判定された。

■問題の午前／午後分割出題により受験者に混乱

従来の“午前中＝必修問題30問、一般問題90

問／午後＝一般問題30問、状況設定問題60問”という出題形式から、必修問題、状況設定問題が午前・午後に分割して出されるなどの変更があったため、受験者のなかには混乱もみられた。また、今回より新たに写真を用いた問題が2問、正しい知識の有無を確実に問うことがためのX2タイプ(複数の選択肢から2つの正解肢を選ぶ形式)の問題が10問導入された。

■来年度の出題基準改定のポイント

来年度は、国家試験の出題基準が改定される予定となっている。2008年3月の保健師助産師看護師国家試験制度改善部会の報告書に挙げられた事項は下記の通り。

●看護師国家試験

- ・必修問題を現行の総問題数240問の範囲内で、現在の30問から20問増やし、合計50問程度とすべき
- ・「患者等の生命を直接脅かす行為」「触法行為」および「非倫理的な行為」を問う問題の出題の強化
- ・薬剤の用法や薬効の理解および緊急時の対応に何する問題の充実

●保健師国家試験

- ・地域・職域等の集団および多様な対象者に対する援助における判断力、災害や虐待等の社会問題への対応を問う問題の強化

なお、次号に今回の国会試験に関する分析・解説を特別記事として掲載する。